

ヘルシー インフォメーション

問い合わせ

東松島市役所 ☎82-1111 代表FAX:82-8143

(東松島市内での固定電話の市外局番 0225)



乳幼児健康診査・健康相談のお知らせ

場所 矢本保健相談センター

問

健康推進課子ども健康係

☎内線3102・3108

	乳幼児健康診査（診察開始:13時30分～、受付時間は健診により異なります）								妊産婦・子どもの健康相談 （午前開催）※要予約
	4か月児		1歳6か月児		2歳児歯科		3歳児		
	日程	生まれ月	日程	生まれ月	日程	生まれ月	日程	生まれ月	
2月	27日（金）	令和7年10月	25日（水）	令和6年7月	2歳児歯科健診は奇数月のみ実施。 次回3月26日（木）		26日（木）	令和4年9月	18日（水）

対象者には、通知しています。通知が届いていない方・転入された方などは、下記まで連絡ください。3歳児は、健診時間の短縮のために健診票の事前返送に協力ください。4か月児と1歳6か月児、2歳児歯科の健診票は、通知(ハガキ)に記載した二次元コードから期日までに回答してください。

※妊産婦・子ども健康相談は予約が必要となりますので、子育て支援アプリまたは電話で予約ください。

妊娠・出産・子育てに関すること

子育て支援アプリ(すくすくアプリひがマーチ)

妊娠中のアンケートの回答や面談の予約等に使用、妊娠・出産・子育てに関する情報を随時発信しています。

母子健康手帳交付

交付には予約が必要です。予約は子育て支援アプリもしくは電話で予約してください。

子育て支援アプリ
ダウンロード

イト・イ～ナギフト(旧:出産子育て応援給付金)

令和7年4月1日から対象者を拡大して対応しています。(流産・死産された方も対象になる場合があります)

※各事業の詳しい内容は、市ホームページを確認または問い合わせください。

市ホームページ



■問 健康推進課子ども健康係 ☎内線3116・3123

休日・夜間の診療当番医のお知らせ

医療機関の都合により変更になる場合がありますので、最新情報は市ホームページをご覧ください。診療が必要な場合は電話で受け入れ可能か確認をしてから受診してください。



東松島市の休日担当医院および薬局

診療時間:9時～17時

日曜日・祝日・年始の日中に急患・診療対応を行っている医療機関です。

月日	医院名	電話番号	薬局名	電話番号
2月1日(日)	わたなべ整形外科	84-2323	-	-
2月8日(日)	森さい生医院	98-8891	-	-
2月11日(水・祝)	野蒜ヶ丘痛みのクリニック	98-6662	-	-
2月15日(日)	ししど内科クリニック	83-8830	調剤薬局 くりっぶ みつと調剤薬局	24-9730 83-7806
2月22日(日)	ひかりサントクリニック	84-1333	和薬局	84-2711
2月23日(月・祝)	仙台ペインクリニック石巻分院	82-1310	ウジエ調剤薬局 矢本店	84-3053

救急電話相談

夜間や休日の急な病気やけがで、救急車を呼んだ方がよいのか迷うときや、応急処置の方法が知りたいときの相談ダイヤルです。

区分	電話番号	時間
おとな救急 電話相談	①#7119 ②022-706-7119	毎日(24時間)
子ども救急 電話相談	①#8000 ②022-212-9390	毎日(19時～翌朝8時)

※相談と助言を目的とするものです。緊急、重症と考えられる場合は、迷わず119番に電話をかけてください。
※固定電話やIP電話など②を利用いただけない場合は②の番号でかけてください。

夜間診療

急患、診療対応を行っている医療機関です。一次救急施設のため、応急処置が原則です。

診療科目	曜日・時間
内科	月～土曜日 18時～翌朝7時／日曜日、祝日 18時～翌朝6時
外科	月～土曜日 18時～翌朝7時／ 日曜日、祝日 9時～17時、18時～21時
小児科	月～金曜日 19時～22時／ 土曜日 18時～翌朝7時／日曜日、祝日 18時～翌朝6時

■問 石巻市夜間急患センター
(石巻市蛇田字西道下71 ☎94-5111)

小児科休日急患診療

日曜日・祝日の日中に子どもの急患・診療対応を行っている医療機関です。

■診療時間
9時～17時

■問 石巻市夜間急患センター
(石巻市蛇田字西道下71 ☎94-5111)

歯科休日救急診療

■診療時間 9時～17時

■問 石巻歯科医師会休日診療所
(石巻市中里三丁目10-12 ☎94-8223)

教えてドクター!みんなの健康相談室 vol.7

Q 麻しん風しん混合ワクチン2期の接種は必要ですか。麻しん風しんに限らず予防接種は必要だと思いますが、健康被害の噂も耳にします。(40歳女性)

A 「ししど内科クリニック」院長の穴戸友明です。ワクチン接種については賛成反対さまざまな意見がありますが、ワクチンほど多くの命を救ってくれたものはありません。3億人の命を奪った天然痘は根絶され、ジフテリアや破傷風、ポリオも恐れずによくなりました。私たちを守ってくれるワクチンのありがたさは、親の愛情と同じでなかなか気づかないものです。ワクチンは人類史上、最も成功した予防医学の手段であり、未来への贈り物と考えていいのではないかと思います。

さて、麻しん風しん混合ワクチン(MRワクチン)の第2期接種率が下がっており、大変心配しています。MRワクチンは定期接種として2回行います。(第1期:1歳から2歳の誕生日の前日まで、第2期:小学校入学前の1年間(5～7歳

未満))日本は平成27年に麻しん排除を認定されましたが、その後は訪日客の増加により再流行の危険性が高まっています。麻しんは新型コロナ以上に感染力が強く、肺炎や脳炎などの合併症、死亡例もあります。さらに数年～数十年後に亜急性硬化性全脳炎(SSPE)を発症することがあり、非常に恐ろしい病気です。風しんは妊婦が感染すると胎児に先天性風しん症候群(心疾患・難聴・白内障など)を起こすことがあり、注意が必要です。

副反応としてMRワクチンは、発熱、発疹、鼻水、咳、注射部位の赤みや腫れがよく見られます。まれにアナフィラキシーなども報告されているため、不安に思うことも確かです。ただ、ワクチンは卵そのものを使っていないため、卵アレルギーによる反応の心配はほとんどありません。MRワクチンを接種すると約95%の人が免疫を獲得できます。子どもの命を守り、次の世代を守るためにも、定められた時期に必ず接種することを強くお勧めします。また、子宮頸がんワクチンなど若い人の癌を予防するワクチンもあります。副反応だけではなく防げる病気のことと考え、子どもたちの笑顔を守りましょう。

ししど内科クリニック
穴戸友明院長